

初めて日本、そして夢を追う旅

I Eハド タニアル ハイカ ビン Eハド スラマン

「雨降って地固まる」18歳の時の私は、今

の自分になるために、日本に渡る準備のため、

多くの困難を乗り越えなければなりません。

私はマレーシア出身で、今回が初めての

の海外留学です。子供の頃から日本に憧れて

いました。アニメやマンガ、伝統文化に触れ

るたびに、その思いは強くなっていました。

私は、日本の大企業で働きたいので、その夢

を追うために日本に留学することを決意しま

した。

私が初めて日本に来たのは春でした。私は

生まれてこのかた四季を感じたことはありません。

春の美しい景色には心を癒す力があり、

桜の花びらが舞い、再生の感覚を与えてくれ

ます。

日本語学校の授業が始まり、友達や先生た

ちと出会いました。彼らと一緒に過ごす時間

は、私にとってかけがえのないものです。大

阪の賑やかな街並みや、美味しい食べ物、四季折々の美しさに触れて、異文化の素晴らしさを肌で感じました。

もちろ言葉の壁や文化の違いに苦労することもありました。しかし、それを乗り越えるたびに自分が成長していることを実感しました。特に日本語で日常会話ができるようになるまでの道のりは長く険しかったですが、努力を続けました。

「桃李不言下自成蹊」という言葉を胸に、良い行いを続けることで周りの人々との信頼関係を築いていきました。大阪での経験は、私にとって、一生の宝物になるでしょう。夢を追いつづけることの大切さを改めて感じ、これからも挑戦を続けていきたいと思います。日本には「花は桜木、人は武士」という言葉もあります。美しい桜のように輝く人になりたいです。どんな困難があろうとも、この日出ずる国で、輝き続けたいと常に願っています。

夢見る子供でしたが、今は夢を追っています。